

令和6年度入学者出願書類記載要領（新入学向け）

誠英高等学校通信制課程

I 入学願書記載要領

※保護者等欄以外は受検者本人が記入すること。

- 1 「中学校」の〔 ① 〕年3月〔 ② 〕立〔 ③ 〕中学校の枠について
①は、卒業（見込）年を和暦で記入する。
②は、国立（国）、市立（市）、私立（私）などを記入する。
③は、中学校名を記入する。
- 2 「中学校」の（卒業見込・卒業）について
いずれか当てはまる方を○で囲む。
- 3 令和6年度誠英高等学校全日制課程受験出願の有無について
全日制に出願をしている場合は 出願ありを○で囲む。
全日制に出願をしていない場合は 出願なしを○で囲む。
- 4 「高校」の〔 ① 〕年〔 ② 〕月〔 ③ 〕立〔 ④ 〕高等学校入学
〔 ⑤ 〕年〔 ⑥ 〕月付同高校 第1学年（退学）の枠について
①は、入学年を和暦で記入する。
②は、入学月を数字で記入する。
③は、国立（国）、市立（市）、私立（私）などを記入する。
④は、退学した学校名を記入する。
⑤は、退学年を和暦で記入する。
⑥は、退学月を数字で記入する。
- 5 「保護者等」について
①保護者等の欄は志願者本人が未成年の場合に記入する。志願者が成人の場合は記入の必要はない。また、父母、親権者又は後見人とし、生徒と縁故があり独立の生計を営む成年以上の者であること。
②現住所の欄は、本人の現住所と同じであれば、「同上」と記入する。
- 6 「令和6（2024）年度入学検定料納付票」「令和6（2024）年度入学検定料領収書」について
「生徒氏名（ふりがな）」枠をそれぞれ記入する。

入学検定料について

※本校全日制課程へ出願した生徒が通信制課程へ出願する場合にも、入学検定料14,000円が改めて必要となる。

- a. 出願書類等を本校通信制窓口を持参する場合は、出願書類等と一緒に入学検定料14,000円を現金で納付する。
- b. 出願書類等を郵送する場合は、入学検定料14,000円を郵便局で郵便普通為替に換え、出願書類等と一緒に簡易書留で本校通信制宛へ郵送する。
（郵便普通為替は無記入のまま。）

Ⅱ 入学志願者調査書記載要領

※本校全日制課程へ出願する際に全日制用調査書を提出した場合も、通信制課程出願において通信制用調査書の提出が改めて必要となる。

※『生徒 data』シートに入力した項目を『誠英通信調査書 R6』に反映することができる。反映させる場合は、『誠英通信調査書 R6』の“番号を入力してください”の枠に『生徒 data』シートより反映させたい生徒の番号を入力する。

印刷したい場合は、“印刷範囲”の“自”と“至”に生徒の番号を入力し“印刷ボタン”を押す。複数枚を印刷したい場合は、“自”に最初の生徒の番号を、“至”に最後の生徒の番号を入力することで連続印刷ができる。

※「受検番号※」の欄は、記入しない。

※『生徒 data』シートを使用しない場合は、『誠英通信調査書 R6（関数なし）』へ直接入力する。

1 「性別」の欄は、男または女を記入する。

2 学習の記録欄

(1) 「観点別学習状況」の「評価」の欄は、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」）から転記する。A、Cのみを記号により記入する。Bは記入しない。

(2) 「評定」の「1年」、「2年」の欄は、指導要録から転記する。

(3) 「評定」の「3年」の欄は、第3学年の第1、2学期の成績をもとに5段階評定で記入する。

(4) 「5教科の評定合計(a)」の欄は、学年ごとに、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の各評定を合計したものを記入する。

(5) 「4教科の評定合計(b)」の欄は、学年ごとに、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の各評定を合計したものを記入する。

(6) 「9教科の評定合計((a)+(b))」の欄は、学年ごとに「5教科の評定合計(a)」と「4教科の評定合計(b)」を合計したものを記入する。

(7) 「9教科の評定合計の3か年の合計」の欄は、各学年の9教科の評定合計を合計したものを記入する。

3 「行動の記録」の欄は、第3学年における第1、2学期の行動の記録について、項目ごとに、「中学校生徒指導要録に記載する事項等」に準じて、○印を記入するか又は空欄とする。

4 「出欠の記録」の欄は、第3学年2学期末までのものを記入する。

また、1週間以上の連続欠席がある場合や欠席日数、遅刻・早退回数が多い場合は、必ずその理由を記入する。

なお、不登校の生徒に対する出席扱いに関することは、備考欄に記入する必要はない。また、欠席の理由が不登校である場合は、欠席の理由についても記入する必要はない。

5 「総合所見及び参考となる諸事情」の欄

生徒の成長の状況を総合的にとらえるため、以下のような事項をおおむねその順で記入する。

(1) 各教科の学習に関する所見

必修教科について、総合的に見た場合の生徒の特長や、指導上特に留意した事項を記入する。

- (2) 行動に関する所見
行動の状況について、全体的にとらえた生徒の特長を記入する。
 - (3) 特別活動に関する事実及び所見
3か年の特別活動について、主な事実及び総合的にみた場合の所見を記入する。また、学校内外における体育活動、文化活動、社会参加活動について、参考となる諸事項を記入する。
 - (4) (1)～(3)の項目で記載できなかったことで参考となる諸事項やその他、特筆すべき事項があれば記入する。
 - (5) 帰国子女等については、帰国前の国名、在住期間（平成又は令和○年○月～平成又は令和○年○月）、帰国後の編入学年、日本語の理解度等、選抜に必要と思われる事項を記入する。
 - (6) 疾病等の状況について、特に必要であると思われる事項を記入する。
記入に際しては、生徒の優れている点や長所、進歩の状況などを取り上げることが基本となるよう留意する。
- 6 過年度卒業者については、記入できる範囲で指導要録から転記する。